

製造業のビジネスチャンスが見える  
モノづくり最新情報サイト  
じゃぱんお宝にゆ〜す  
<https://japan.otakaraneews.com>

# じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる  
製造業応援サイト  
じゃぱんお宝WEB新聞  
最新情報満載！好評配信中！

## semi™ 世界半導体産業の最新レポート

# 世界半導体産業 年内は向かい風を持続 2024年には回復へ向かうと予測を発表

### 世界半導体産業 最新動向予測

SEMI(米国カリフォルニア州ミルピタス)は8月15日、TechInsightsと共同で発行する最新のSemiconductor Manufacturing Monitorレポートにおいて、IC売上高の連続減少が緩和し始めており、世界の半導体産業のダウンサイクルの終わりが近づいている模様で、2024年には回復に向かうとの予測を示した。電子機器の売上高は、2023年第3

四半期に前期比10%増加の健全な成長を記録する見込みだが、同期のメモリーICの売上高は、2022年第3四半期に下降傾向に入って以来はじめて、二桁成長が予測されている。

### 2023年後半逆風予測 2024年は底から回復

SEMIおよびTechInsightsは2023年後半期に半導体製造分野に対する逆風が続くとの見解を示している。垂直統合型デバイスメーカー(IDM)お

よびファブレスメーカーの高水準の在庫の調整が引き続きファブ稼働率を抑制し、2023年第3四半期の稼働率は2023年前半期の水準を大きく下回るとみられる。

半導体製造装置の販売額およびシリコンウェーハの出荷面積は2023年前半期は安定して推移したが、半導体製造分野の低調が波及し、本年後半期には減少することが予測される。

半導体産業の市場指標は、2023年上半年末に底を打ち、市場はそこから回復に転じて2024年の継続成長の土

台をつくることを示している。2024年は全ての分野で前年から増加し、電子機器の売上高は2022年のピークを上回ることが予測される。

### 関係者の予測

SEMIの市場情報担当シニア・ディレクタ Clark Tseng氏によれば、「需要の回復が予想よりも遅いため、在庫の正常化は当初の予測から2023年末までずれ込むでしょう。しかし、最近の動向はICが最悪の状況を抜けたことを示唆しています。半導体製造は2024年第1四半期に底を打つと予想しています」と指摘する。

また、TechInsightsの市場分析担当ディレクタ Boris Metodiev氏は、「半導体市場は過去4四半期にわたり急激な落ち込みを見せましたが、製造装置の販売額とファブ建設は予想をはるかに上回る業績を上げています。政府の産業支援が新しいファブ計画をけん引し、高い受注残によって製造装置の販売額は維持されました」と分析する。

### Semiconductor Manufacturing Monitorレポート

Semiconductor Manufacturing Monitorレポートは、半導体製造産業を製造装置やファブ生産能力から半導体、電子機器の売上高にいたるまでカバーする。同レポートには、半導体製造サプライチェーンの2年間の四半期実績データと1四半期の予測が提供され、これには主要IDM、ファブレス、ファウンドリ、OSAT、装置企業の情報が含まれている。

レポートの詳細・購読については、SEMIジャパン カスタマーサービスまで問い合わせ  
◇E-Mail : [jpublication@semi.org](mailto:jpublication@semi.org)  
(※資料提供：SEMIジャパン)

